

TOTO

壁排水便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への
危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う 可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」 内容です。
--	------------------	---	-------------------------

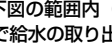
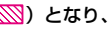
⚠ 注意	
	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏 れのため家財を汚す原因になること があります。
	設置工事に使用する部品は必ず 付属部品および指定部品を使用 する
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、 たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財な どをぬらし、財産損害発生のおそれがあります。
	フィルター掃除をするときは、必ず止水栓 を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあり ます。

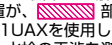
3 取り替え対象便器の一覧

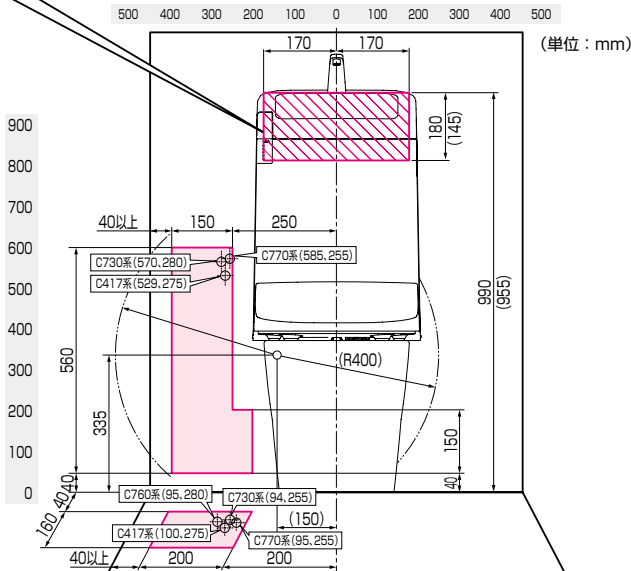
●下記品番からCS963BPに取り替えできます。

TOTO取り替え対象便器	C14P	C730P	C760P	C770P	C417	CS560BP
--------------	------	-------	-------	-------	------	---------

4 給水の使用可能範囲

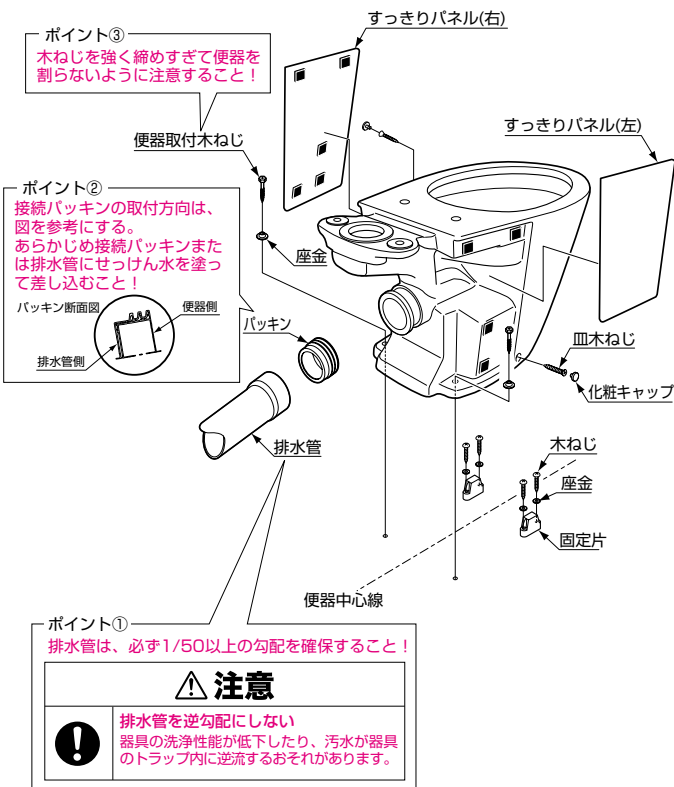
3 項に記載した対象便器からCS963BPに取り替えを行う際、タンクの給水
使用可能範囲は下図の範囲内（) となります。
ただし、C14系で給水の取り出しがセンターとなる場合の使用可能範囲は下図
の範囲内（) となり、取り替え用給水金具を準備しています。

■〈壁〉C14系からの取替えの場合
既設の給水位置が、 部にある場合には、取り替え用水栓
品番：TS91F1UAXを使用します。
また、タンクと水栓の干渉を避けるため、タンク背面と壁との距
離を55mm以上確保してください。
※ () 寸法は、手洗いなしとなります。



※標準の給水ホース（400mm）で施工できる範囲です。右給水および上記範囲以外の場合は、
長さ違いの給水ホースを別途現場手配いただくことになります。

5 各部の名称と施工のポイント

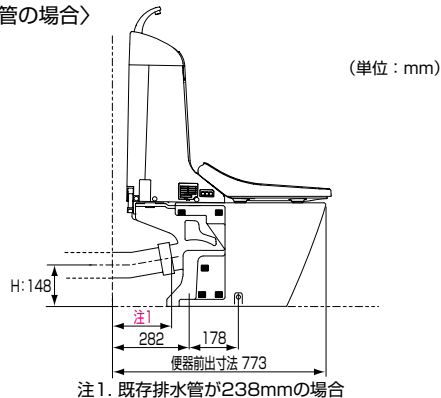


6 施工要領

1 固定片の位置決めと取り付け

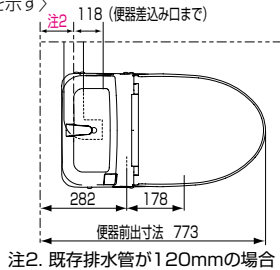
- ①下図を参照し、排水管に対して便器を仮置きし、便器取付木ねじの位置をけがく。
※このとき、便器中心線と便器の中心がほぼ一致するように注意してください。

〈後抜き排水管の場合〉



〈横抜き排水管の場合〉

〈例: 右横抜き排水管を示す〉

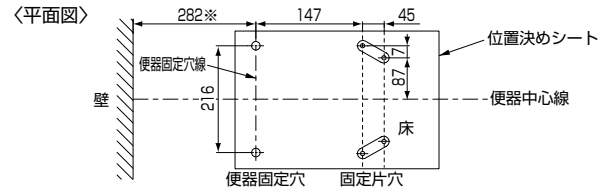


※既設排水管で後抜き、横抜きいずれの排水管の場合も、便器固定穴線の基準位置は壁から282mmになります。ただし、既設排水管の寸法が注1・2と異なる場合は、便器前出寸法が異なったり、もしくはタンクが壁にあたるおそれがあります。

- ②便器を外し、便器取付木ねじの位置と便器中心線を基準に位置決めシートを床面に置き、固定片の位置をけがく。(下図を参照ください)

- ③固定片を上記位置に合わせて床に固定する。

※床面がタイル・コンクリートの場合、固定穴6カ所の下穴をあけるなどの前処理をしてください。



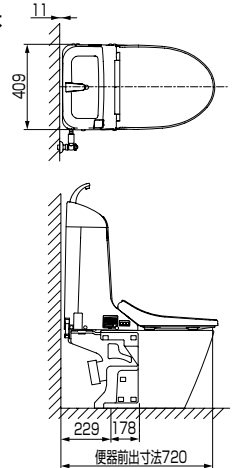
＜参考＞ 便器前出寸法を抑えたいときは

後抜き排水管の場合、既設排水管を切断して排水ジョイント（HP82S）で接続すると、便器前出寸法を抑えることができます。また、このときの便器固定穴線の位置は壁から229mmの位置となります。

※壁と便器固定穴線の距離が224mm未満の場合は、タンクが壁にあたるおそれがあります。タンクを仮置きし、壁にあたらないことを確認のうえ、施工してください。

※給水位置がタンク背面にある場合はタンク背面と壁との距離を55mm確保してください。（給水の使用可能範囲を参照）

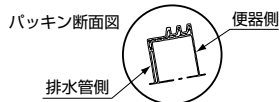
※排水接続の状態（排水径が確保されているか、逆勾配になっていないか、排水ジョイントに無駄なたるみがないかなど）を確認のうえ、施工してください。



2 便器の取り付け

- ①便器排水口に接続パッキンを取り付ける。

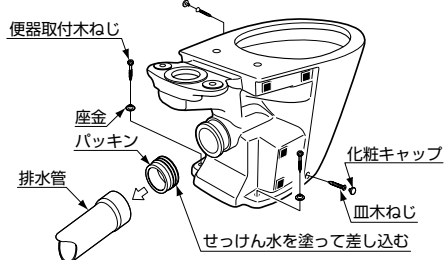
※接続パッキンの取付方向は、図を参照してください。あらかじめ接続パッキンまたは排水管にせっけん水を塗って差し込んでください。



- ②便器を固定する。

※便器後部の固定を先にしてください。

側面の固定を先に行くと便器が左右へずれる場合があります。



※便器取付木ねじ、皿木ねじを強く締めすぎず便器を割らないようにご注意ください。

※排水管は、必ず1/50以上の勾配を確保してください。

⚠ 注意



排水管を逆勾配にしない

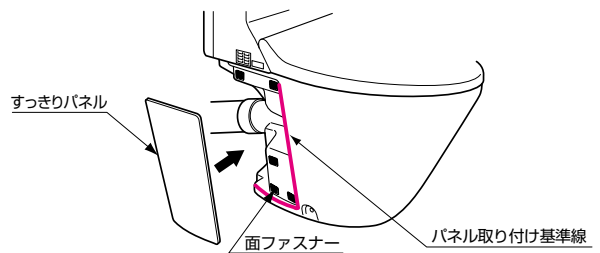
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

3 タンクの取り付け

タンクの取り付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書に従ってください。

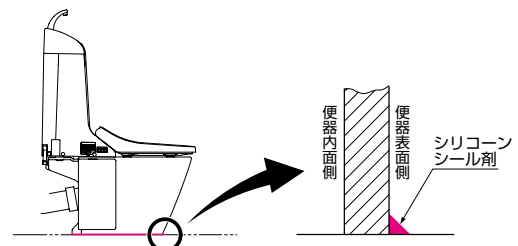
4 すっきりパネルの取り付け

- すっきりパネルをパネル取り付け基準線（赤線）に合わせて取り付ける。



お客様に快適に使っていただくためのポイント

- 便器下部と床のすき間に水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器床接地部周囲に防カビ性の透明シリコンシール剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。



防振シート HR800S(オプション品)

集合住宅(RC構造)では、トイレの小用時の音が階下へびびくことがあります。TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取付けることで、床を通じて階下へ伝わる小用行為音(伝搬音)を効果的に低減しますのでご利用されることをおすすめいたします。

防振シートの厚み分(5mm)排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。